



東京外国語大学長 立石博高氏をお迎えして

「スペイン歴史散歩——記憶の場を探訪する」

スペインは、歴史的経過のなかで、じつに多様な民族と文化を受け入れてきた。イベリア半島は、「アフリカとヨーロッパの、大西洋と地中海の四つ辻、出会いの場」であったからである。そして「さまざまな人間と文明が入り込み、対立しあった」諸地域を「スペイン」へと纏めあげるのには容易ではなかった。いまスペインは、その多言語・多文化状況を前提にして新たな纏まりを模索しているが、そのためには帝国とカトリックを礼賛するような過去の歴史の見方から訣別しようとしている。本講演では、単一的な国民アイデンティティ形成のためにつくられようとした歴史スポット、つまり「記憶の場」を探訪しながら、これまでの歴史の見方を省察し、今後スペインがどのような方向へ歩むかを考えたい(立石博高)。

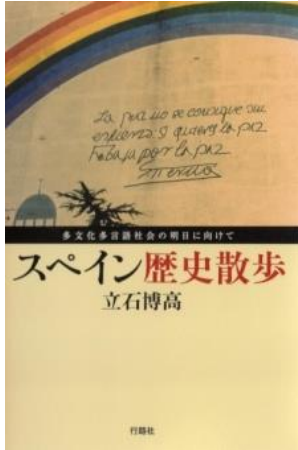
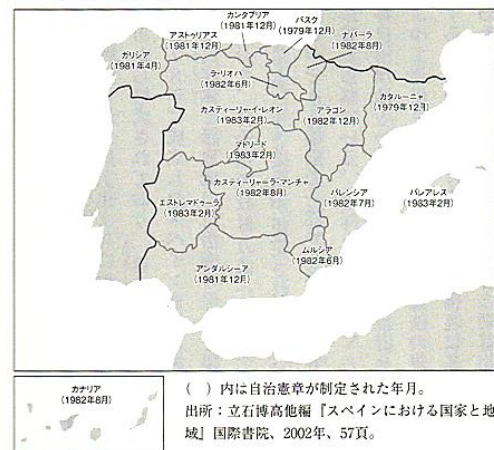


図1 自治州国家体制の成立



日時：2017年 3月 4日(土)

13:00~15:00

場所：かながわ県民センター305号室

横浜駅西口より徒歩5分

参加費：1000円

お申込み&お問合せ：

Tel&Fax：0467-43-6973 (服部)

kfk.2010@clear.ocn.ne.jp

又は、info@yokohama-spain.jp

立石博高氏 プロフィール 神奈川県出身

東京外国語大学長

東京外国語大学外国語学部スペイン語学科卒業

東京都立大学大学院人文科学研究科修士課程修了(文学修士)

東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程中退

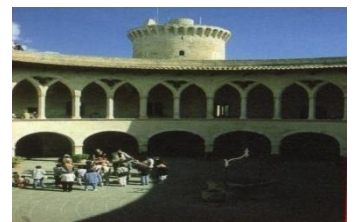
専攻は、西洋史、スペイン地域研究。

同志社大学助教授、東京外国語大学助教授、教授、

大学院地域文化研究科長、附属図書館長、副学長などを経て、2013年4月から現職。

主な著書に「スペイン歴史散歩」…行路社、「世界の食文化⑭スペイン」…農山漁村文化協会 など

2017



Castillo de Bellver



Fuente de Neptuno

立石先生はスペインの歴史に精通しているだけではなく、スペインの食文化にも造詣が深く、「作って食べることが大好き」と伺っております。スペイン理解を深めるためにまたとない機会と存じます。皆様のご参加をお待ちしております。